

公表

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果 すくすく塾 新保

令和7年度

事業所名		公表日			
すくすく塾 新保		2026年 4月 19日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	個別学習では十分な環境が確保されているが、小グループでの活動によっては部屋の大きさに限りがあるので、活動内容を工夫しています。	小グループになる場合は、お子様の心理状態に配慮したり、声の大きさなどにも気をつけて、活動にあった環境作りに努めています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	個別はお子様の特性や状況に応じた職員を配置し、小集団でもお子様の活動の内容に合わせて一人一人に対して十分な対応ができるように人員を配置しています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	0	階段があるためバリアフリーではないが、安全に階段の昇降ができるよう、お子様の前後に職員がついて誘導している。踏み台やベビーガードも設置しています。	今後も引き続き安全に誘導できるよう、より一層注意してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	毎日清掃を行い、集中しやすい環境作りに努めています。活動により運動等は公園を利用しています。	スペースは狭いが、子供たちが心地よく活動できるよう、支援内容にあった快適な環境作りに一層努めてまいります。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	お子様の心理状況や体調を考慮し、集団に入ることが難しかったり、クールダウンが必要な場合には別室へ行く等の対応をしています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	毎日のミーティングで、お子様の支援の状況や、業務について職員全体で話し合っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	保護者向けのアンケートを実施し、業務改善に努めています。	さらに業務改善につなげてまいります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	毎日ミーティングをし、定期的に社長や、責任者面談を実施し、業務改善に繋がっています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	0		今後は取り入れる方針で、どこにお願いするか検討中です。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	事業所内で全員参加の研修会を設け、外部研修に交代で参加し研修報告をしています。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	支援プログラムを作成し、HPに掲載し、事業所内にも掲示しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	指導員から見た課題を保護者様に伝え、保護者様からのニーズも加味し、R7.2月からはAIによるアセスメントも実施しています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	昨年度からAIも導入し、担当者会議も設け、お子様の状況を良く理解した担当指導員と児発管が共通の理解をした上で検討し立案しています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	個別支援計画をもとに支援の組み立てを行い、変更があれば児発管に相談しています。お子様の状況を、児発管や職員間で都度共有し支援にあたっています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	AIによるアセスメントを活用し、日々の実態も加味し、最善な支援を検討し実施できるように確認しています。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	特に、本人支援はAIを活用しアセスメントに基づいて計画し、5領域について未発達な点は具体的な支援項目を実施できるように開発されたシステムを導入しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	小グループでの活動プログラムは担当同士が話し合っ決めていきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	お子様の興味や発達に見合うものを工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	お子様の来所される曜日を調整し、個別と小グループでの支援を組み合わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	支援内容や役割分担を一週間程度前には事前に決め、お子様の特性や心理状況に寄り添えるように、教材や準備物を用意し、当日の朝にも職員間で最終確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	4	0	毎日のミーティングでお子様一人一人の状況を職員間で振り返り、課題については検討しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	お子様の支援内容、その際の様子等を記録し、課題の検討や、他の職員間で情報共有しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	半年ごとの見直しに加え、家庭からのご要望や、新たな課題があれば都度検討し、見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0	①自立支援と日常生活のための活動②創作活動③地域交流の機会の提供④余暇の提供と、5領域の活動も取り入れながら支援を行っています。	③地域交流の機会の要望がない現状と、地域交流の場が持ちにくいので、今後検討していきます。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	お子様に学習の順番の意見を聞いたり、遊びやプリントを選んだり、年齢に応じて、様々な自己決定の機会を設けています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	サービス担当者会議には、お子様の状況をよく理解した担当指導員と児発管が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	保護者様のご要望や、必要と思われる場合は連携をとり、ケース会議を開催しています。	ご家庭や関係機関からの要望に応じて今後も連携していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	保護者様からの要望や、必要と思われる際には随時、情報共有や連絡調整を行います。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	保護者様からの要望や、相談支援事業所等、必要と思われる際には提案し、情報共有に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0		該当のお子様がいる場合には連携していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1		児童発達支援センターの研修にも参加出来るように心がけていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4		今後保護者様の要望があれば機会を設けていきます。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	4		自立支援協議会の開催自体が減少しており、開催される場合には参加できるよう掛けていきます。	

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	毎回の支援内容を、都度のフィードバックの際に丁寧にお伝えするようにしています。また保護者の方からも日頃の様子やお困りごとを伺い、共通理解を図っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	お子様のニーズに合わせて、親子で参加していただく外部研修や、支援の際に参観したり、一緒に活動したり、アドバイスする機会を提供しています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時にご説明しますが、折に触れてご理解頂けるように説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	年齢や特性に応じてお子様にも要望を聞き、保護者様の意向を伺う機会を設け、最善の利益になるよう努めています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	AIのアクセスメントに基づく資料の説明とともに、支援計画の説明を丁寧に行い、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	保護者様のお悩みや相談には、主に児発管が面談の機会を設け、電話でも対応しています。内容によっては担当指導員も面談に参加し、お子様の詳しいご様子も交えて家族支援に繋げています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	4		全体での保護者様の会の実施は、どのような形でやっていくのが良いか検討中です。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	児発管が窓口となっており、ライン、電話、対面を含めて、保護者さまの苦情やご質問には直ちに対応するよう心掛けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	主にラインで行事や概要案内をタイムリーにお知らせすると共に、お子様のご様子をお一人お一人写真を撮り、保護者様に発信にしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	個人情報は鍵付きの書庫で保管をし、個人情報保護の観点から、事務所への立ち入りをお子様も保護者様もお断りしています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	緘黙や特性のあるお子様にはパソコンや気持ちカード等で、保護者様にはLINEやSNS等を活用し、意思疎通や情報伝達出来るように努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		町内会には所属していますが、イベント等は現状行っていません。要望があれば検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	各種委員会を構成し、各種マニュアルを策定したものを掲示し、保護者様に周知を努めています。お子様には支援の中で、訓練を実施し、職員には各種研修・訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	BCPの委員会を構成し、マニュアルを策定し、職員には研修・訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	契約時に服薬状況や病歴等を提出していただき、確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	契約時に各種アレルギーについて提出していただき、職員間で常に共有しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全計画委員会を構成し、安全計画を策定し、職員の研修・訓練を実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	契約時に、安全に対する取り組みを説明しています。また、安全に対する取り組みを掲示し、周知しています。	
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	すくすく塾（4事業所）全体で起こった事例は共有し、再発防止策を講じています。		

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	虐待防止委員会を構成し、マニュアルを策定し、職員に対し、内外の研修を義務付けています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、重要事項説明書に記載しているか。	4	0	身体拘束防止の観点から、やむを得ない身体拘束については、重要事項説明書に記載し、保護者様の了解を得ていますが、日頃からそのようなことがないよう努めています。また身体拘束防止の為に委員会での指針を整備して研修を義務付けています。	